

利根小学校の校舎建築にむけ旧利根東小校舎の解体工事がはじまりました 利根小学校は4月7日に開校 生徒数は132人

利根東小、利根西小、平川小の3校が統合され、4月7日開校した利根小は、1年生19人、2年生16人、3年生19人、4年生23人、5年生20人、6年生35人の合計132人の生徒でスタートしました。

利根小は、旧利根東小に新しい校舎を建てるため現在は、旧利根西小の校舎を使用しています。

利根小の建築予算は、2億9,959万円で、新校舎建築にむけ旧利根東小の校舎解体工事がはじまりました。



東京オリンピックのドイツ・フェンシングチーム事前合宿誘致についてどのように考えているのか

大東議員の3月定例市議会一般質問

大東議員は、東京オリンピックでのドイツ・フェンシングチーム事前合宿についての考えと今後の対応について質問しました。

教育長は、「世界のトップ選手のプレーを直接見ることは、競技力の向上に大変良い機会につながると考えている」、今後の取り組みについては、「日本フェンシング協会などと連携し、誘致に努めたい」と答えました。

市民体育館を練習場にするには改修に、多額の費用が必要ではないかという大東議員の質問に教育長は、「施設については課題がある。市民体育館については何とも言えない。関係者と協議が必要になる」と答えました。

観光シーズンの幕開け 激流のなか吹割のたき開き

吹割の滝開きと安全祈願祭が18日おこなわれ、利根町の観光シーズンの幕開けを告げました。

冬の少雪の影響で、水量は例年より少ないといわれていますが、吹割の滝は轟音と水しぶきを上げていました。

利根町観光協会の小尾孝男会長は、あいさつのなかで「金精道路が、通年開通したら、滝も通年で来てもらえるようにしたい」と話しました。



利根の三大奇祭の一つヤアヤアドリ祭り

みなかみ町の「ヤッサ祭り」片品村の「猿追い祭り」とともに利根の奇祭といわれている、尾合神社の「ヤアヤアドリ祭り」が、17日おこなわれました。

「ヤアヤアドリ祭り」は、お櫃から赤飯を奪い合うというお祭りです。



2016年4月24日

NO. 479

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 TEL23-1519 部内資料



政府は、高齢者や障がい者、妊婦、小さい子どもがいる家庭など、被災者の状況に合ったきめ細かな対策、水や電気などのライフラインの復旧、水や食料がすべての被災者に届くよう自治体への支援を強めるべきです。

こんにちは。熊本県と大分県を中心とした九州地方を襲った地震災害は、強い余震や誘発された地震が繰り返され、被災者の不安に拍車をかけ、被災地に大雨が降れば、土石流など二次被害も懸念されています。

強い余震などがつづいているため、被災者は自宅の片付けもままならず、電気や水道などのライフラインが断たれ、復旧していないことが被災者の困難を大きくしています。

被災地での避難は、予定されていた避難所自体が地震で損壊しているところもあり、避難所への物資を運ぶ道路も大きく破損していることから全国から寄せられた食料や水が、配布ルートが機能していないところもあり、被災者まで届いていないところもあります。

こんにちは 大東のぶゆき です

続ぶらり散歩 めまた道 薄根地区あれこれ 特別編その六

恩田木工の祖先屋敷跡

沼田氏と真田氏に仕えた恩田氏は、沼田氏の一族で発知から恩田に移り住み、恩田氏を名のりました。

恩田氏は、真田信之が上田に移った時、いっしょに上田にいき、真田氏が松代に移封になった時もいっしょに松代に移りました。

恩田木工（もく）は、松代藩の6代目藩主、真田幸弘に仕えた家老で、窮乏していた藩財政を立て直したことで有名です。



荘田神社の大イチョウ

県指定天然記念物の「荘田神社の大イチョウ」は、根元周囲10.00m、高さ28.85mで、県内では三指に入るイチョウです。

この大イチョウは、八百比丘尼が植えたともいわれ、荘田神社が以前は諏訪神社とよばれ、この木の気根を煎じて飲むと乳がでることから、「諏訪の乳イチョウ」とよばれています。

